

アンカーと
散歩道

石澤典夫アンカーの
ちひろ美術館探訪

いわさきちひろの 素顔を探して

今年生誕百年を迎える絵本画家・いわさきちひろさん。没後四十年以上たっても、その作品は愛され続けています。現代社会にちひろさんの世界が語りかけるものは何か。作家で美術評論家の長男・松本猛まうしんたけしさんにお話をうかがうとともに、石澤アンカーがちひろ美術館・東京を訪ね、絵本の魅力に触れました。

いしざわ・のりお

2009(平成21)年に〈ラジオ深夜便〉アンカーとなり、第2・4 両を担当。美術館・画廊巡りが趣味のひとつ。これまで〈新日曜美術館〉、〈ラジオ深夜便〉「私のアート交遊録」など、美術関連の番組を多く受け持つ。





館内に復元されたアトリエや画材の展示は、ちひろさんの制作中の姿が目に見えて感慨深いですね。



いわさきちひろさんの自宅兼アトリエ跡に建つ美術館です。創設後に少しずつ周囲の土地を買い足しながら、大きくしていったそうです。

いわさきちひろの
真実を残したかった

石澤 昨年発表した松本さんの著書『いわさきちひろ子どもへの愛に生きて』は、どんな思いで書いたんですか。
松本 僕は青年のころ母親の影響をかなり受けましたが、ちひろにも同じようなことがあったはずですよ。ですから今回の本では、ちひろが誰にどんな影響を受けたのかを一つのポイントにしました。
調べていくと、ちひろという一人の絵描きの感性や思想がどうやって築かれていったのかが見えてきました。自分

息子が描く
評価の決定版



『いわさきちひろ 子どもへの愛に生きて』（講談社）

まつもと・たけし

1951(昭和26)年、東京生まれ。'77年に世界初の絵本美術館「いわさきちひろ絵本美術館」(現・ちひろ美術館・東京)を設立。その後設立した「安曇野ちひろ美術館」(長野県松川村)の館長、長野県信濃美術館・東山魁夷館館長を歴任。



撮影/島崎信一

の母親ではあるけれど、歴史上の人物を掘り起こすようなおもしろさがあったって、夢中で書きました。
石澤 破綻した最初の結婚について、お相手のことも丁寧に書かれていますね。
松本 関係者がすべて亡くなってしまった今、きちんと残しておくべきだと思いました。婿養子はいいい人でしたが、両親が強引にすすめた結婚でした。ちひろが触れられるのを拒み続けたことで彼は傷つき、自ら命を絶ってしまいました。それにとても責任を感じていたようで、実家のあった松本市を訪れると、いつも真



絵本を読んでいる間は、
ゆっくりと流れている間は、
時間が
じまます。絵本は人に優しいアイ
テムですね。

若い松本さんの姿をとらえた
スケッチも展示。絵の端に
は「1951.7.5 私の可愛い猛」
と書き込んである。



松本 子どもが好きだったん
です。性格もあるでしょうが、
たくさんの悲しい経験から、
人を傷つけることができなく
なった気がします。僕は強く
怒られた記憶がありません。
ちひろの想像力はたいへん
豊かでした。原爆被害に遭っ
た子どもたちの手記を集めて
本にしたときのことです。取
材先の広島で、歩きたびに「こ
の下に骨が埋まっている」と
言って、何もできなくなっ
てしまいました。そんな強い感
受性を持つていたので、た
いたりしたら、子どもはどう
思うのかと意識してしまっ
たのかもしれないですね。



顔を洗う男の子『ひとりのできるよ』
(福音館書店)より／1956年



少年『戦火のなかの子どもたち』
(岩崎書店)より／1973年

水がにじむような
やわらかなタッチは、
風のそよぎや、大気の優しさ、
そんないろいろな
自然の姿を含んでいるのです。

松本猛



青い鳥と少女／1972年

っ先にお墓参りに行きました。
石澤 ふんわりとした作品か
らは優しく温かい印象を受け
ますが、実は壮絶な経験をし
ていて、激しいものを内に秘
めた人だったんですね。
松本 若いころは大胆で積極
的だったようです。けれども
夫の死や悲惨な戦争の体験な
どが、ちひろが「命」を描く
ベースになったのだろうと思
います。絵を通して、ずっと
命と向き合ってきたのです。
繊細な心が生んだ
子どもへの愛と優しさ
石澤 松本さんを、とてもか
わいがっていたそうですね。



撮影/中川敦玲

ちひろ美術館・東京

東京都練馬区下石神井4-7-2
☎03-3995-0612
テレフォンガイド 03-3995-3001
開館時間/前10:00～後5:00 (最終入館後4:30)
休館日/☎ (☎の場合は開館、翌平日休館)
※ゴールデンウィーク、8月10～20日は無休、
年末年始、2月は休館。
展示替えによる臨時休館あり。
入館料/大人800円、高校生以下無料

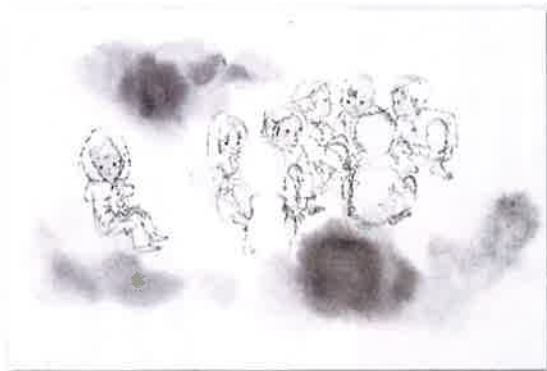
いわさきちひろ生誕100年イベント

Life展

会場/ちひろ美術館・東京
2018年3月1日(困)～2019年1月31日(困)
会場/安曇野ちひろ美術館
2018年3月1日(困)～12月16日(回)

生誕100年 いわさきちひろ、 絵描きです。

会場/東京ステーションギャラリー
2018年7月14日(回)～9月9日(回)



防空壕の子どもたち 『戦火のなかの子どもたち』
(岩崎書店)より/1973年

ちひろさんが
最後に完成させた絵本が、
松本さんのその後の人生を
明確にしてくれたんですね。

石澤典夫



焰のなかの母と子
『戦火のなかの子どもたち』
(岩崎書店)より/1973年



後、僕を美術館づくりに駆り立て、結果的に評伝を書くことにもつながったと思います。
絵本には
世代を超えた力がある
石澤 最近子どもにも対する絵本の読み聞かせが、希薄になってきている気がしませんか。
松本 絵本はわずかなページに、とても大きな世界が描かれています。戦争や生と死の問題、貧困、ジェンダーなど、時代に合わせてテーマも広がっています。絵本は「子どもの本」として発展しましたが、今ではどの世代にも必要な存在で、絵本の果たす役割は大

石澤 松本さんと一緒に絵本を作られていますよね。
松本 僕が大学生のとき「一緒にやろう」と誘われて、ちひろが手がけた最後の絵本『戦火のなかの子どもたち』を作りました。バラバラに描いた絵を構成する作業をしたんです。一緒に作ることで、僕に戦争体験を伝えたかったのかもしれない。

高校時代から絵本作りの現場には顔を出して、絵本制作についてはかなり話し込んでいたので、とてもうれしかったですね。完成して一年でちひろは亡くなりましたが、濃密に過ごしたあの時間が、没

きくなっていると感じます。
石澤 今年はいわさきちひろさんの生誕百年を迎えます。美術館ではどんな計画がありますか。

松本 今年の春から来年にかけて、若手アーティストとのコラボレーションや、東京ステーションギャラリーでの大きな展示会を予定しています。
いわさきちひろという画家が絵本で語ったことは何だったのか、なぜ子どもの命を見つめて平和を描き続けたのか。それらをもう一度見直すチャンスになればいいと思います。

2018年1月5日放送
「母・ちひろ アトリエの後ろ姿」

〈ラジオ深夜便〉関連商品をプレゼントします。はがきに住所・名前・年齢・電話番号・希望の品・今月号でよかった記事・取り上げてほしい内容をお書きのうえ、〒150-8328（住所不要）NHKサービスセンター「ラジオ深夜便4月号・読者プレゼント」係まで、4/18（必着）でご応募ください。

*いただいた感想は「読者の広場」に掲載する場合があります。



招待券 ちひろ美術館共通券 5名

今年、生誕100年を迎えた画家・いわさきちひろの作品を展示するちひろ美術館（p.20参照）。東京と長野の2館の共通招待券2枚組を5名に。

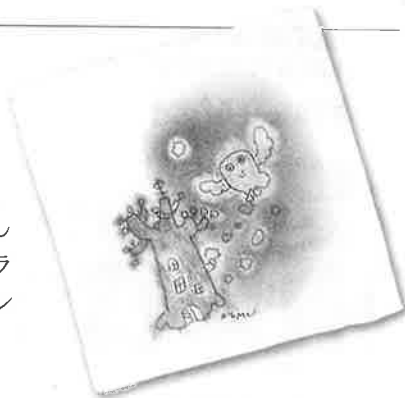
*ちひろ美術館・東京（東京都練馬区下石神井4-7-2）
安曇野ちひろ美術館（長野県松川村西原3358-24）

タオル 5名

ゆめぞう君ハンドタオル

盲目のイラストレーター・エムナマエさん（p.8参照）がパステルを使って描いた、〈ラジオ深夜便〉マスコット・ゆめぞう君のハンドタオル。絵柄は「ゆめぞう君と木の家」。

サイズ：35×35cm



●2月号プレゼント当選者（順不同・敬称略）

◆本 福岡伸一『動的平衡3』⇒黒澤茜（東京都調布市）土居則子（さいたま市）森彦人（京都府宮津市）中嶋雄二（大阪府高槻市）小田憲雄（宮城県延岡市）◆本 ニコリ『じいじとばあば ようこそ数独！』⇒牛本千和恵（千葉県長生村）内記道子（富山県砺波市）岩下みさ子（三重県桑名市）森久雄（徳島県吉野川市）森川親利（熊本市）